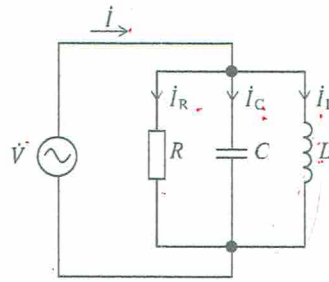


A - 5 次の記述は、図に示す抵抗 R [Ω]、静電容量 C [F] 及び自己インダクタンス L [H] で構成された並列共振回路の特性について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。ただし、回路は共振しているものとする。

- 1 並列共振回路のインピーダンスは、最小になる。 ○
- 2 \dot{V} と i の位相差は、 0 [rad] である。 ○
- 3 i_C と i_L の位相差は、 π [rad] である。 ○
- 4 i_R と i_C の位相差は、 $\frac{\pi}{2}$ [rad] である。 ○
- 5 i_R と i_L の位相差は、 $\frac{\pi}{2}$ [rad] である。 ○



\dot{V} : 交流電源 [V]
 i : 交流電源から流れる電流 [A]
 i_R : R に流れる電流 [A]
 i_C : C に流れる電流 [A]
 i_L : L に流れる電流 [A]

\sim コイルは電圧は電流より 90° 遅れる
 --- コンデンサは電流は電圧より 90° 進む

$2\pi = 360^\circ$
 $\pi = 180^\circ$
 $\frac{\pi}{2} = 90^\circ$

